

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】令和4年8月29日(2022.8.29)

【公開番号】特開2021-136883(P2021-136883A)

【公開日】令和3年9月16日(2021.9.16)

【年通号数】公開・登録公報2021-044

【出願番号】特願2020-35297(P2020-35297)

【国際特許分類】

C 1 2 N 5/0783(2010.01)

10

C 1 2 N 1/04(2006.01)

C 1 2 N 5/071(2010.01)

A 6 1 K 9/10(2006.01)

A 6 1 K 47/02(2006.01)

A 6 1 K 47/12(2006.01)

A 6 1 K 35/17(2015.01)

A 6 1 P 35/00(2006.01)

A 6 1 P 31/12(2006.01)

A 6 1 P 37/04(2006.01)

【F I】

20

C 1 2 N 5/0783

C 1 2 N 1/04

C 1 2 N 5/071

A 6 1 K 9/10

A 6 1 K 47/02

A 6 1 K 47/12

A 6 1 K 35/17 A

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 31/12

A 6 1 P 37/04

30

【手続補正書】

【提出日】令和4年8月19日(2022.8.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

40

以下の工程を含む、NK細胞の処理方法：

(1) 体外で活性化したNK細胞を、細胞培養用の培地で回収し；

(2) 回収したNK細胞を凍結保存のための液に懸濁し；

(3) 懸濁したNK細胞を、凍結する。

【請求項2】

工程(1)が、胆汁酸およびフェニル酪酸からなる群より選択されるいずれかを添加した培地による処理を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

さらに以下の工程を含む、請求項1または2に記載の方法：

(4) 凍結保存したNK細胞を解凍し、解凍した細胞を解凍溶媒Iに懸濁する。

50

【請求項 4】

解凍溶媒Iが、以下を含む水溶液である、請求項1～3のいずれか1項に記載の方法：

- ・塩化ナトリウム 9.00～108mM、
- ・グルコン酸ナトリウム 2.30～27.7mM、
- ・酢酸ナトリウム 2.70～32.5mM、
- ・塩化カリウム 0.496～5.96mM、および
- ・塩化マグネシウム 0.148～1.78mM。

【請求項 5】

以下を含む、高活性NK細胞を懸濁するための液：

- ・塩化ナトリウム 9.00～108mM
- ・グルコン酸ナトリウム 2.30～27.7mM
- ・酢酸ナトリウム 2.70～32.5mM
- ・塩化カリウム 0.496～5.96mM
- ・塩化マグネシウム 0.148～1.78mM

10

【請求項 6】

凍結保存のための液に懸濁して凍結された高活性NK細胞を懸濁するためのものである、請求項5に記載の液。

【請求項 7】

高活性NK細胞、
凍結保存のための液、および
請求項5に記載された液
を含む、医薬組成物。

20

【請求項 8】

以下の工程を含む、NK細胞を含む医薬組成物の製造方法：

- (1) 体外で活性化したNK細胞を、細胞培養用の培地で回収し；
- (2) 回収したNK細胞を凍結保存のための液に懸濁し；
- (3) 懸濁したNK細胞を、凍結する。

【請求項 9】

工程(1)が、胆汁酸およびフェニル酪酸からなる群より選択されるいずれかを添加した培地による処理を含む、請求項8に記載の製造方法。

30

40

50